

製品名: MARCKS (リン酸化 Ser163) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab04974

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	MARCKS
別名	MARCKS; MACS; PRKCSL; Myristoylated alanine-rich C-kinase substrate; MARCKS; Protein kinase C substrate; 80 kDa protein, light chain; 80K-L protein; PKCSL
遺伝子 ID	4082.0
SwissProt ID	P29966
免疫原	抗血清は、Ser163 のリン酸化部位周辺のヒト MARCKS 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 136-185

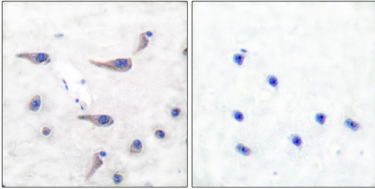
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、プロテインキナーゼCの基質です。細胞膜に局在し、アクチンフィラメントを架橋するタンパク質です。プロテインキナーゼCによるリン酸化、またはカルシウム-カルモジュリンとの結合により、アクチンおよび細胞膜との結合が阻害され、細胞質中に存在します。このタンパク質は、細胞運動、貪食、膜輸送、および有糸分裂誘発に関与していると考えられています。[RefSeq 提供、2008年7月]機能: MARCKSは、プロテインキナーゼCの最も重要な細胞基質です。このタンパク質は、カルモジュリン、アクチン、およびシナプシンと結合します。MARCKSは、フィラメント状の(F)アクチン架橋タンパク質です。PTM: PKCによるリン酸化により、MARCKSは膜から排除されます。また、F-アクチン架橋活性を阻害します。類似性: MARCKSファミリーに属します。、

研究分野

Fc ガンマ R を介した貪食作用;

画像データ



MARCKS (リン酸化Ser163) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。